

一

次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の――線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- 1 イカメラを飲んで検査をする。
- 2 入場ケンを買う。
- 3 つりセンを受け取る。
- 4 受けたオンを返す。
- 5 銀行にお金を預ける。
- 6 完成度の高さに舌をまく。
- 7 天皇陛下が海外の国王とお会いになる。
- 8 山を切り開いて、宅地開発をする。

問二 次の空欄^{くうらん} A E に体の一部の漢字を入れて慣用句を完成させなさい。

- | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|-----|-----|-----|--------|
| E | D | C | B | A |
| をうたがう | を抜く | が痛い | が軽い | がぼうになる |

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は、もっとも「書く量」が多い時代

パソコンやスマートフォンなどのツールがハツタツするにつれ、^①実は書き言葉によってやりとりをする機会というのは、以前より格段に増えています。

少し前までは電話での通話が当たり前だったような場面の多くが、今やLINEやメッセージなどのメッセージアプリに取って替わられています。

電話よりもさらに時代をさかのぼれば手紙でのやりとりが主流だった時代もあったわけですが、その時代と比較しても、現代の書き言葉によるコミュニケーションは段違いに多くなっているのです。^{だんちが}

このような変化は、友人や家族などのプライベートなやりとりだけでなく、仕事の場においても同様に起こっています。メールを書くのに時間がかかると、それだけほかの業務が圧迫されてしまいます。^{あっぱく}また、もし下手な書き方をして相手の心象を害したりしてしまったら、大きな失敗にもつながりかねません。

I、ビジネスメールなどにおいて、書き言葉できちんと自分の意思を相手に伝えられるというのは、今や仕事上、必要不可欠ともいえる能力なのです。

とはいえ、社会人になりたての人や、これまであまりビジネスメールを書くキカイがなかったという人、そもそもが仕事でのメールのやりとり之苦手意識をもっているなどという人にとっては、一通一通の文面を仕上げるのが多大な労力だと感じられてしまうこともあるでしょう。^A

そこで、お伝えしたいアドバイスが2つあります。

「うまい定型文」を集める

ひとつめのアドバイスは、「使えそうな表現のストックをつくっておく」ことです。

Ⅱ

、仕事相手から届いたメールにあった、素敵な時節の挨拶文や締めくくりの言葉。伝えにくいことを切り出す際の絶妙な言い回し。仕事上のやりとりをなごませる、ちよつと砕けた柔らかい表現などなど。

広く使われる定型文のようなものでも、その人独自の語り口でも、読んだときにこれはと思う表現があったらストックし、必要に応じて使っていけばいいのです。

ここで「人が書いた文章を拝借するなんて」と抵抗を感じる必要などありません。

Ⅲ

、みんな誰かの文章の「コピペ」をしているものだからです。

そもそも言葉は自分が生み出したものではありませんし、言葉を連ねて文章をつくるというのも、自分が始めたことはありません。つまり、私たちが普段書いている文章というのは、多かれ少なかれ、誰かの「コピペ」から始まっているわけです。借用の歴史が言葉の歴史、文章の歴史といっていいでしょう。

みなさんが誰かの表現をいくら拝借しようと、その伝統を受け継いでいるということにすぎない。そう考えると、軽やかな気持ちで文章を書けるような気がしないでしょうか。

もちろん、他人が書いた論文や小説の一節を、あたかも自分の文章であるかのように書くのは盗用にあたりますが、メールに使われていた定型文を使わせてもらうくらいならば、まったく問題はないのです。

ただし、ここでひとつ、ご注意を。

「この書き方、いいな」とストックしておいた文章を、送ってくれた本人とのやりとりの中で使ってしまうと、言わずもがな、お互いに気まぐさを覚えてしまいます。くれぐれも、この点だけは気をつけてください。

X をしっかり書く

ビジネスメールの書き方、2つめのアドバイスは、「X をしっかり書こう」ということです。ブログやSNSで発信する文章とビジネスメールとの大きな違いは、「目的の有無」にあるといえるでしょう。ビジネスメールの場合は、「何か用件を伝える」「イエスカノーかを伝える」といった建設的な目的が必ず存在しているのです。

相手に伝えたいことは何なのか、このメールを送る目的は何なのか。

明確に結論を書けば、読み手はメールの意図をすんなりと理解できますし、返信が必要な場合でも、その内容に困ることはありません。イエスカノーかの判断が必要な場合にしても、そのどちらなのかを最初に読みとることができるので、すぐに次の動きをとることができます。逆に結論がわかりづらいメールでは、相手は、そのまま話を進めていいのか、それとも再検討したほうがいいのか、あるいは保留にしたほうがいいのかなど、すぐに判断が付きません。結果として、相手の時間と労力を奪ってしまうことになるのです。

届いたメールにはできるだけスピーディーに対応するということも含め、明確に結論が伝わるような内容にすることは、C 仕事相手に対する礼儀でもあるといえるでしょう。

孔子も「辞は達するのみ」（文章は意味が伝わるのが大事）と言っています。

IV

、ビジネスとはいえ人と人とのコミュニケーションですから、相手との関係性によっては多少の無駄話や脱線があっても楽しいものです。

ただし、無駄はあくまで余興と心得て、メールを送る「目的」を見失わないようにしてください。

（齋藤孝『書ける人だけが手にするもの』）

問一 ――線部①ゝ③のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 空欄

 にあてはまる語句としてそれぞれ適切なものを、次のアゝカの中からそれぞれ一つずつ選んで記号で答えなさい。

ア なぜなら

イ ですから

ウ たとえば

エ そして

オ さて

カ もちろん

問三 ――線部A「一通一通の文面を仕上げるのが多大な労力だと感じられてしまうこともあるでしょう。」とありますが、なぜ多大な労力だと感じられてしまうのですか。本文中の言葉を使って七十五字以内で説明しなさい。ただし、解答には次の語句を必ず使いなさい。

・ ビジネスメール

・ 自分の意思

・ 失敗

問四 ——— 線部B「みなさんが誰かの表現をいくら拝借しようと、その伝統を受け継いでいるということにすぎない。」とありますが、この部分を書きかえているところを本文中から五字でぬき出して答えなさい。

問五 空欄

X

 に入る言葉を本文中から二字でぬき出して答えなさい。

問六 ——— 線部C「仕事相手に対する礼儀^{れいぎ}」とありますが、その具体例としてあげられているものとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 例えを多く使って相手に分かりやすく伝えること。
- イ スピーディーに返信がもらえるようにできるだけ文面が短いメールにすること。
- ウ 書き言葉によるやりとりが増えている時代だからこそ、電話でのやりとりに変えること。
- エ 自分の伝えたいことを理解してもらえらるためにはっきりと結論を書くこと。

三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A
台風が去って、すばらしい青空になった。

都会からあまりはなれていないある村でも、被害^{ひがい}があった。村はずれの山に近い所にある小さな社^{やしろ}が、がけくずれで流されたのだ。朝になつてそれは知った村人たちは、

「あの社は、いつからあったのだろう」

1

「さっそく建てなおさなくては、ならないな」

と言いかわしながら、何人かがやってきた。

2

「このへんだったかな」

3

その時、一人が声を高めた。

4

みんなが集まってきたところには、直径一メートルぐらいの穴があった。のぞき込^こんでみたが、なかは暗くてなにも見えない。なにか、地球の中心までつき抜^ぬけているように深い感じがした。

5

そんなことを言った者もあった。

「おーい、でてこーい」

若者は穴におかって叫^{さけ}んでみたが、底からはなんの反響^{はんきやう}もなかった。彼はつぎに、そばの石ころを拾^かって投げ込^こもうとした。

「ばちがあたるかもしれないから、やめとけよ」と老人がとめたが、彼は勢いよく石を投げ込んだ。

I

、底からはやはり反響がなか

った。村人たちは、木を切って、縄でむすんで、柵をつくり、穴のまわりを囲った。

「穴の上に、もとのように社をたてようじゃないか」

相談がきまらないまま、一日たった。早くも聞きつたえて、新聞社の自動車がかけつけた。

わからないことはない、といった顔つきで穴の方におかった。

Ⅳ、もの好きなやじうまたちが現れ、目のきよろきよろした利権屋みたいなものも、ちらほらみうけられた。駐在所の巡査は、穴に落ちるものがあるといけないので、つきつきりで番をした。

中略

利権屋は、仲間を都会で猛運動させた。すばらしく深い穴がありますよ。学者たちも、少なくとも5千メートルはあると言ってます。原子炉のカスなんか捨てるのに、絶好でしょう。

官庁は許可を与えた。原子力発電会社は、争って契約した。村人たちがちょっと心配したが、数千年は絶対に地上には害は出ないと説明され、Ⅴ利益の半分をもらうことで、なっとくした。しかも都会から田舎まで、立派な道路が作られたのだ。

トラックは道路を走り、鉛の箱を運んできた。穴の上でふたはあけられ、原子炉カスはあなのなかに落ちていった。

外務省や防衛相から、不要になった機密書類を捨てに來た。監督についてきた役人たちは、ゴルフのことを話し合っていた。作業員たちは、指示に従って書類を投げ込みながら、パチンコの話をしていた。

穴は、いっぱいになるけはいを示さなかった。よっぽど深いのか。それとも、底の方で広がっているのかもしれないと思われた。穴埋め会社は、少しずつ事業を拡張した。

大学で伝染病の実験に使われた動物の死体も運ばれてきたし、引き取り手のない浮浪者の死体もくわわった。海に捨てるよりいいと、都会の汚物を長いパイプで穴まで導く計画も立った。

穴は都会の住民たちに、A感を与えた。つぎつぎと生産することばかりに熱心で、あとしまつに頭を使うのは、だれもがいやがっ

ていたのだ。この問題も、穴によって、少しずつ解決していくだろうと思われた。

婚約こんやくのきまった女の子は古い日記を穴に捨てた。かつての恋人こいびとととった写真を穴に捨て、新しい恋愛れんあいをはじめめる人もいた。警察は、押収おうしゅうした巧妙こうみょうなにせ札を穴にしまって安心した。犯罪者たちは、証拠物件しやうこを穴に投げ込んでほっとした。

穴は、捨てたいもの、なんでも引き受けてくれた。穴は、都会よこの汚れを洗い流してくれ、海や空が以前にくらべて、いくらか澄すんできたように見えた。

その空をめざして、新しいビルが、つぎつぎと作られていった。

ある日、建築中のビルの高い鉄骨の上でひと仕事終えた作業員が、ひと休みしていた。彼は頭かれの上で、

「おーい、でてこーい」

と叫ぶ声を聞いた。しかし、見上げた空には、なにもなかった。青空が広がっているだけだった。彼は、気のせいかな、と思った。そして、もとの姿勢にもどった時、声のした方角から、小さな石ころが彼をかすめて落ちていった。

しかし彼は、ますます美しくなっていてゆく都会のスカイラインをぼんやり眺ながめていたので、それには気がつかなかった。

(星新一「おーい でてこーい」)

問一 ――線部 A「台風」とありますが、左に台風についての説明をしました。(1) と (2) に「南」か「北」を入れて文章を完成させなさい。

台風は日本の (1) の方で発生し、はじめはやや西に向かい、やがて (2) や東に向かう。

問二 空欄

1

5

 に入る会話文として、最も適切なものを次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで記号で答えなさい。

ア 「おい、この穴はいいんだ」

イ 「いや、もう少しあっちだったようだ」

ウ 「キツネの穴かな」

エ 「なにしろ、ずいぶん昔からあったらしいね」

オ 「ひどくやられたものだ」

問三 本文中 I く V にあてはまる語句としてそれぞれ適切なものを、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで記号で答えなさい。

ア だが イ また ウ そして エ つづいて オ まもなく

問四 — 線部B「すばらしく深い穴」とありますが、なぜ「すばらしい」のですか。その理由となる一文を— 線部B「すばらしく深い穴」のあとから二十一字でぬき出して、最初と最後の三字を答えなさい（句読点も字数に数えます）。

問五 空欄 A に入る言葉を本文中から二字でぬき出して答えなさい。

問六 ――線部C「海や空が以前にくらべて、いくらか澄すんできたように見えた。」とありますが、なぜですか。本文中の言葉を使って二十五字以内で答えなさい。

問七 本文中の「**ますます**」と同じ意味・用法の「ますます」を使って短文を作りなさい。ただし、解答には主語と述語を必ず使いなさい。また、本文の語句や文を利用しただけの解答は不正解とします。